

「秋田県防災・減災行動計画」の実績に係る 点検・評価について

令和3年10月27日
秋田県総務部総合防災課

「秋田県防災・減災行動計画」（平成28年3月策定）の実績に係る点検・評価の結果は、次のとおりである。

1 点検・評価の対象項目

点検・評価の対象は、定量目標を設定した73項目とした。

2 点検・評価結果の概要

(1) テーマ別取組状況【資料1】

①テーマ1 「災害に強いまちづくり」・・・ 前進した項目（24／26） うち目標達成：16項目

定量目標を設定した26項目のうち、「災害に備えたまちづくり」や「雪に強いまちづくり」に係る取組については、対策費が大きい事業の優先や既存設備の更新が中心に行われたこと等や財政事情により、目標に達していないものが多かった。ただし、目標にわずかに届かなかった取組も多いため、事業の着実な進捗はみられる。

②テーマ2 「災害対応力の強化」・・・ 前進した項目（25／26） うち目標達成：12項目

定量目標を設定した26項目のうち、前進はしているものの、市町村が避難指示等を発令するために必要となる「避難勧告等の判断・伝達マニュアル」や、自力で避難できない高齢者や障害者を円滑に避難させるための「要支援者の個別避難計画」が未策定の市町村が多くみられる。

また、「避難所（福祉避難所）の開設・運営マニュアル」が未策定の市町村もあるが、避難所における被災者の良好な生活の確保や感染症対策のために、早急な策定に向けて働きかける必要がある。

③テーマ3「地域防災力の強化」・・・ 前進した項目（11／15）

うち目標達成：1項目

定量目標を設定した15項目のうち、新型コロナウイルスの影響により、自主防災組織関連の事業実施回数や研修会開催回数、防災学習館入館者数などが減少した。

県民の防災対策に関する項目も目標には届いていないため、自主防災組織率が低い市町村を中心に県事業のPRを進めていくとともに、県民の防災意識向上に資する取組も展開していかなければならない。

④テーマ4「消防力の強化」・・・ 前進した項目（5／6）

うち目標達成：3項目

定量目標を設定した6項目のうち、「消防団員の条例定数充足率」や「消防団協力事業所数」など、消防団に係る取組に目標未達成の項目がみられる。消防団は災害時における人命救助や避難誘導といった役割を担うため、引き続き団員数を増やす取組を進めていく。

（2）県・市町村の取組状況

①県の取組状況【資料2】

定量目標39項目について、概ね順調に取組が行われおり、20項目について目標を達成できた。

「治山事業新規箇所数」、「自主防災アドバイザー派遣事業実施回数」など19項目については、財政的な要因や新型コロナウイルス感染症の影響のため、目標数値を達成できていない。

②市町村の取組状況【資料3】

定量目標29項目について、全市町村で概ね順調に取組が行われてた。テーマ2「災害対応力の強化」やテーマ3「地域防災力の強化」に係る取組のうち、住民や要配慮者への避難、避難所での被災者の良好な生活のために不可欠な各種計画やマニュアルの策定が一部市町村で遅れており、17項目について目標値を下回った。

3 課題及び今後の対応

本計画は、本県の防災対策の大綱を示す「秋田県地域防災計画」の実効性を高め、地域防災力の更なる強化を図ることを目的に、防災・減災対策を着実に実施するために定められた。テーマ1「災害に強いまちづくり」を中心としたハード対策は、目標達成に至らなかった取組もあるが、着実に推進することができた。

一方で、テーマ2「災害対応力の強化」やテーマ3「地域防災力の強化」を中心としたソフト対策では、着実な前進は見られるものの、新型コロナウイルス感染症への対応

や各種事業の中止、不要不急の外出制限等の影響により、自主防災組織関連の事業実施回数や研修会開催回数、防災学習館入館者数などが大幅に減少した他、事業各種計画やマニュアルの策定が遅れる結果となった。

コロナ禍においても、防災・減災対策を推進することは必要不可欠であり、今後も着実に対策を推進する必要があるため、県、市町村及び各防災関係機関と連携を深め、県の各部局が市町村の取組を十分に支援し、県民一人ひとりが防災・減災対策に取り組む気運を一層高めていく。また、「秋田県国土強靱化地域計画」と発展的に統合し、各種取組の実施や進捗状況について分析を行うこととする。